

町田市議会議員・納税者主権

# 吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会

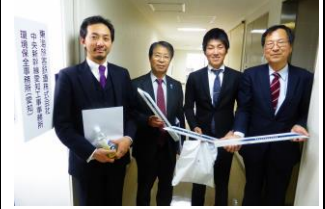
〒194-8520

東京都町田市

森野2-2-22

☎042-724-2171

保守連合会派室



保守連合会派所属議員

## 職員・市長給与引き上げ

3年連続で、職員・市長の給与の引き上げが実施されました。市長が提案し、議会が多数決でその実施を決定したものです。

私が所属する保守連合会派は、今回も全員が反対しました。\*議長の吉田つとむは、採決に加わらないのがルールです。

月々の月給と賞与を組み合わせ、結果として職員や市長等の年俸が同時に増加するシステムになる条例改定（行政側はそれを改正と呼ぶ）案となっており、一般には非常にわかりにくくなっています。町田市は独自に職員給与を算定する体制を持っておらず、加えて市内の民間給与調査も実施していません。すべては、高給の東京都職員にならった方法を採用しています。その方法が、給与をアップする側にとって、最も簡単な方法であるためです。

なお、前から説明している通り、議員の報酬は独自に設定するルールになっています。議員の年俸は、3年前に引き下げており、その後一度も改定しておらず、市長との差が広がるばかりです。この関係でみると、議会が職員・市長の給与アップを容認することは不思議としか言えないと思います。



大勢のお客様を迎える、市議会議長室

## 議会の公開度・都内1位

現在、町田市議会は議会改革調査で全国9位（前年度10位）、都内では6年連続で1位にランキングされています。\*早稲田大学マニユフェスト研究所調べ。特に、平成28年からは、政務活動費使途の領収書の全部をネット公開しており、その実施時期は都内の自治体では最も早い部類に入る先駆性を発揮しています。

住民意見を尊重することでは、議員が地域の隅々まで足を延ばし、一般の市民の皆さんの声を直接代弁することが、議員の「一般質問」にも反映しています。年間4回の定例会で、毎回30人以上の議員が演壇に立つ議会は全国的にもまれです。直接調べた資料は見当たりませんが、全国市議会議長会の「質問の実施状況」を見ると、その所要日数、質問者数から全国トップの議論が展開されていると見なすことができます。

もちろん、町田市議会で不足点もあります。それは「政策条例」と呼ばれる分野で議員立案が進んでいないことですが、個々の議員の調査能力を向上させる努力とともに、議会の会派が協調して自主的にその目標設定を示すことが肝要なのではないかと考えています。



議会運営委員会で他市視察

### ★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ（自宅）

町田市議会議員 議会報告

# 吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード  
でブログ閲覧



情報収集・提供する

## 研修レポート⑪小林加苗

12月初旬、クトロヴァッツコンサートが終わって間もない頃、今回のインターンシップの最終日程として、吉田議員と都内のダリ展を訪問しました。普段美術作品と接点のない生活をしていましたが、ダリ展に関しては街の中で特大ポスターを見かける機会も多く、気になっていました。



ダリ展は開催されてからはかなりの日数が経っていたので、当然スムーズに入館出来るものだと浅はかな気持ちで会場に向かった自分を今では反省しています。実際に会場に着くと多くの人で溢れかえり、長蛇の列が出来ていました。恐らく入館まで1時間近く待ったと思います。到着して早々ダリという人物が美術界において本当に大きな存在であることをひしひしと感じました。そしてやっとの思いで入館すると、ダリという人の世界に自然と引き込まれ、圧倒されました。一人の人物が人生をかけて変化していく姿、葛藤する姿、生きる姿を目の当たりにしたような気分でした。まだまだ美術に関して知識の少ない私ですが、これを機に少しアンテナを張れたらいいなと思います。

吉田議員のインターンシップでは学生側の自由な意思や考えが認められます。初めは就職活動の何か役に立たないかという漠然とした気持ちで参加していましたが、活動を通して多くの働く人々に出会い、何か大人として大切なことを学んだように思います。ここで学んだことを胸に、今度は私が社会で活躍できるように一つずつ前に進んでいけたらと考えています。この活動を通して出会った皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

白百合女子大3年生 小林加苗(第38期生)

## インターンシップの研修内容

吉田つとむの議員インターンシップは、1998年より研修希望者の受け入れを継続し、現在までに、合計76名(女子47名、男子29名)受け入れています。参加の期間は、夏季や春季の休暇時期をメインに、常時希望者を募っています。その研修プログラムは政治に限らず、企業訪問や社会人と会う機会を設定し、将来を決めていない学生に人気が高いのが特徴です。\*募集要項に記したように、多方面の分野に人材が進出し活躍しています。



町田市民ホールで、コンサートを開催し、その実行委員を体験

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。

インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧の上、ご連絡ください。

町田市議会議員・納税者主権

## 吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野2-2-22

☎042-724-2171

保守連合会派室



双方向の情報交流

## 福祉施設の新設に際して

町田市リサイクルセンターの建て替え工事建設に伴い、その敷地内にあった障がい者施設が移設して新しくなりました。社会福祉法人 ボア・すみれ福祉会と言う法人が、生活介護事業 花の家を運営しますが、新しい施設は「新ニューズセンター花の家」と言う名称でした。驚くほどに立派な施設でした。

この障がい者複合施設がこの場所だけのものか、あるいは今後の町田市の在り方を示すものかが問われることを述べました。思うに、もし、この1か所に統合事業の障がい者施設があるのであれば、他の施設に対して今後の運営に大きな責任があることを述べました。エピソードとして、最近訪れて、私が昼食を頂いた障がい者施設の共働学舎の食事提供部門（喫茶・食事）とあまりにも違っていました。果たして、この「新ニューズセンター 花の家」のような施設が増えていくのでしょうか。私には、そうした予算編成が可能かと言えば、かなり難しかりょうと思う次第でした。逆に、他の障がい者施設において、厳しいマイナスの予算措置を求められていることに落差と違和感を感じています。



記事とは別。簡素な障がい者施設も訪れる

## 会派視察：着地型観光

着地型観光とは、旅行者を受け入れる地域で作られる観光事業のことで、自治体が重視する施策に取り入れられる手法です。

保守連合会派の視察で、奈良市の歴史に基づく基盤を基本に置く、珠光茶会を盛大に開催していることを学びました。奈良には多くの優れた文化が息づいています。世界遺産「古都奈良の文化財」はもとより、いにしえより受け継がれる、日本の「源流」ともいえる社寺の伝統行事や伝統芸能、奈良墨や奈良晒などの伝統産業が有形、無形の文化遺産として存在しており、茶道の先駆者の「珠光」にちなみ、それを活かした企画が立ちあげられていました。伝統の寺社と有名流派の家元がかかわる大事業でした。まだ4回目の開催でしたが、年々参加の流派が広がっていました。しかしながら、行政のマンパワーにも限界があり、期間や参加家元を無限に拡大することは難しそうでした。むしろ、この珠光茶会の開催に関連した、民間のイベント開催が期待されていました。旅行客の閑散期に設定された着地型観光の企画が、奈良の風物になることが期待されると思います。



★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ（自宅）

町田市議会議員 議会報告

# 吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード  
でブログ閲覧



市議会の見学・傍聴

## 会派視察：道路陥没した現場

福岡市営地下鉄工事で発生した道路陥没事故に関して視察を行いました。この地下鉄工事は、福岡市営地下鉄七隈線の延伸工事であり、既存の天神南駅から一つの間際駅を設けてJR博多駅に至る区間の工事に相当していました。4つの工法で工事が行われており、アンダーピニング工法（既存の建物の下に設置する、上部のJR博多駅に影響を与えずに、その下を工事する方法）、ナトム工法（事故があった区間で用いられている工法）、シールド工法（地下をモグラ方式に潜って、工事を進める工法。区間的には大半の区間で用いている工法）、開削工法（地上から土砂を取り除いて行う方法、間際駅の区間で行っている方法）と言うものでした。



実際に現場を訪れて視察したのは、そのナトム工法の場所ですが、現場事務所で、福岡市の工事責任者の方々から説明をいただきました。ナトム工法とは、岩盤に横方向に穴をあけて進み、その周囲にコンクリートを吹き付け、その外側の既存の岩盤にボルトを打ち込み、固定させる工法です。オーストラリアのトンネル工事で開発され、堅い岩盤がある場所で行われる工法です。日本では熊

谷組が先行導入していますが、今回は都市部の地下工事でナトム工法が採用されていました。現場では、工事区間とは別の場所に縦穴を掘り、そこから工事の資機材を搬入、排出すること方法が取られていました。搬入場所は、市営の明治公園が使われ、仮設の建物で覆われており、一見、その中で工事が行われているとは思えない設定でした。



平成 28 年 11 月 8 日に事故が起き、1 週間で仮復旧が行われたことは、TV、新聞、一般の人による撮影報道でよく、知られたことでした。現在は、公的な調査委員会が設置され、事故の原因究明が行われていますが、その調査報告が出るまでは工事がストップされている状況です。その調査結果が出るまでは、ナトム工法自体に問題があったのか、あるいはまったく別に問題があったのかは、今のところ不明です。私たちが、軽々には事故の原因を言うことは許されないでしょう。

もとより、この区間の工事の再開と、道路とライフラインの本格復旧は先のこととなります。ただし、工事がストップしているのは、このナトム工法で行われた区間のみで、他の工法で工事が行われている区間では陥没事故は一切無く、以降もそのまま工事が継続されています。事故の原因が解明され、市民交通が便利になることを願っています。

掲載記事、市政のご関心事は、下記の FAX かもしくはメールまでご送信先ください。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

Mail: yoshidaben@gmail.com mobile 専用: yoshidaben@docomo.ne.jp (携帯のみ接続)